Saito Com Co., Ltd.

デ　ジ　ア　ナ　変　調　器

品番　ＤＡＭ－０８　取扱説明書

このたびは、お買い上げいただきありがとうございました。
ご使用の前に、この取扱説明書を必ずよくお読みください。

□安全上のご注意□

この機器を安全にお使いいただくために必ずお守りください。

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お買い上げいただいた製品（本器）の取扱説明書には、あなたや他の人々への危険や財産への損害を未然に防ぎ、製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

図記号の意味

⚠ この記号は警告（注意を含む）を促す事項を示しています。

⃠ この記号は禁止事項（してはいけない行為）を示しています。

⚠ 警告

当社製品は、十分な技術・技能を有する専門業者が取り付け（設置・調整）を行うこと及び使用用途、場所が限定することを前提に販売しています。当社、お買い上げ販売店または専門業者にご確認ください。 ⚠ 注意

本器を使用する場合は、避雷対策としてアース端子を必ず接地してください。
被雷または誘導雷時に火災や機器破損の原因となります。 ⚠ 注意

⚠ 注意

機器のスイッチ類は正しく操作してください。無理な力を加えた場合、スイッチの破損や接触不良の原因となります。コネクタは正しく扱い、必要以上に過度な締め付けをしないようにしてください。 ⚠ 注意

本器は精密機器です。ふたを開けたり、分解したりしないでください。またお客様による修理や改造をしないでください。性能維持できなくなり、故障の原因となることがあります。 ⃠ 禁止

この製品に接続する同軸ケーブルを傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。故障の原因となることがあります。 ⃠ 禁止

取付ねじや接栓は、堅固に取り付け固定してください。落下して、けがや故障の原因になることがあります。 ⚠ 注意

本器をラックに収納する場合は放熱に留意し、熱が内部にこもらないように配慮してください。 ⚠ 注意

□B-CAS カードの登録□ ⚠ ご注意

地上デジタル放送やBS/CS デジタル放送のテレビチューナーでの受信は、B-CAS カードの登録をお客様がする必要があります。その方法はテレビチューナーの取扱説明書に記載してあります。

□製品概要と特長□

■概要

本器は、地上波デジタル放送（以下地デジ）やBS/CS デジタル放送用のテレビチューナー （以下デジタルチューナー）の映像音声出力を入力源とした変調部と 8 波混合部で構成したデジアナ変調器です。
本器 1 台で最大 8 波分の実装が可能です。デジタルチューナーは別売（市販品）となります。
本器の出力信号はアナログテレビやデジタル対応テレビで視聴できる方式です。

■再送信チャンネルの特長

★ゴーストやノイズが少ない良好な映像で視聴できます。
★VHF1 ～ 12、UHF13 ～ 62、C13 ～ C28 のチャンネルの中から、ご注文時に指定していただいたチャンネルとなります。片側隣接チャンネルは特注対応で可能です。

■機器定格

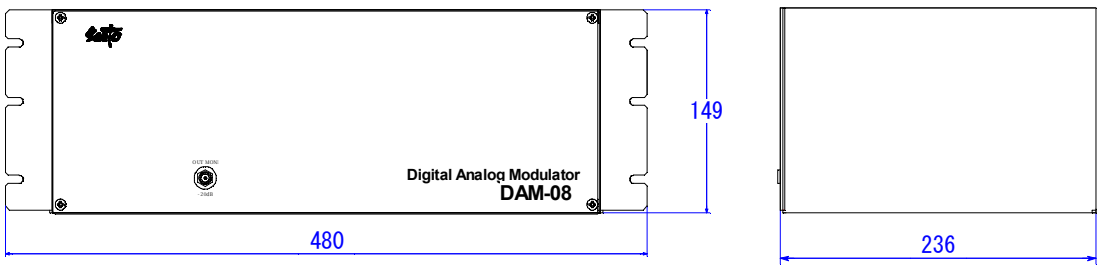
名称		デジアナ変調器	備　　考
品番		DAM-08-□	
入力端子	映像信号	75Ω / 1.0Vp-p	RCA型：黄
	音声信号	20kΩ/ 200mV rms	RCA型：黒（モノラル）
出力端子	出力レベル	80dBμV以上	75ΩF型　VSWR 2.5 （音声キャリアは-15dB程度）
	モニター端子	出力レベル-20dB	75ΩF型
出力チャンネル		V1～V12、U13～U62、C13～C28 上記の内、指定チャンネル	最大8波 原則として隣接伝送は不可
映像標準変調度		75%	MOD調整（連続可変）
出力レベル可変範囲		0 ～ -8dB程度	RF LEVEL調整（連続可変）
設置環境	使用温度範囲	-5～40℃	
	使用湿度範囲	35～85%RH	但し結露しないこと
電源電圧／消費電力		AC100V　約18W	
寸法　（ W × H × D ）		480×149×236mm	ラック仕様（突起部含まず）
重　量		約16kg	

※品番 DAM-08- □・・・□は波数。

■製品構成

★本体
　★変調部
　★8 波混合部(電源内蔵)
　★F 型接栓付き同軸ケーブル
★付属品
　★デジタルチューナーのチャンネルシート

■外観形状



正面　　側面

※仕様及びデザインは予告なく変更する場合があります。

□設置のご注意□

■筐体の取付

★本器（8 波実装時）の重量は約 16kg です。本器（8 波実装時）の電力は約 18W です。
総合重量及び総電力はデジタルチューナー 8 台時の加算が必要です。

⚠**注意**：

・筐体の取り付けは総合荷重に長時間耐え、想定する振動や地震に十分耐える工事が必要です。

・機器の発熱は通風を確保した配慮をしてください。内部温度が高熱となり故障の原因となります。

■屋内の設置（設置例 6 ページ）

★標準ラックに収容する場合
本器は、JIS または EIA 規格のラックに即対応の構造です。
デジタルチューナーの収容箱（別売）は必要です。

★屋内収容箱に収容する場合
壁面取付金具が必要です。（取付金具別売）

■屋外の設置（設置例 6 ページ）

★本器は、屋外用収容箱に収容設置してください。

★テレビ電波が強い場所では、遮蔽性の良い金属の屋外収容箱が必要です。（すだれ縞防止）

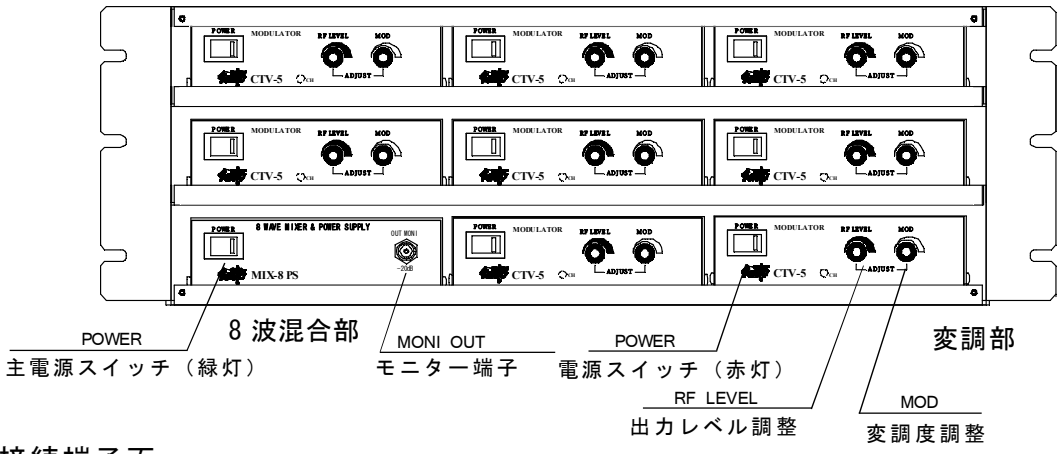
■同軸ケーブルの接続

★本器の変調部と 8 波混合器間の同軸ケーブルは、電源重畳しています。

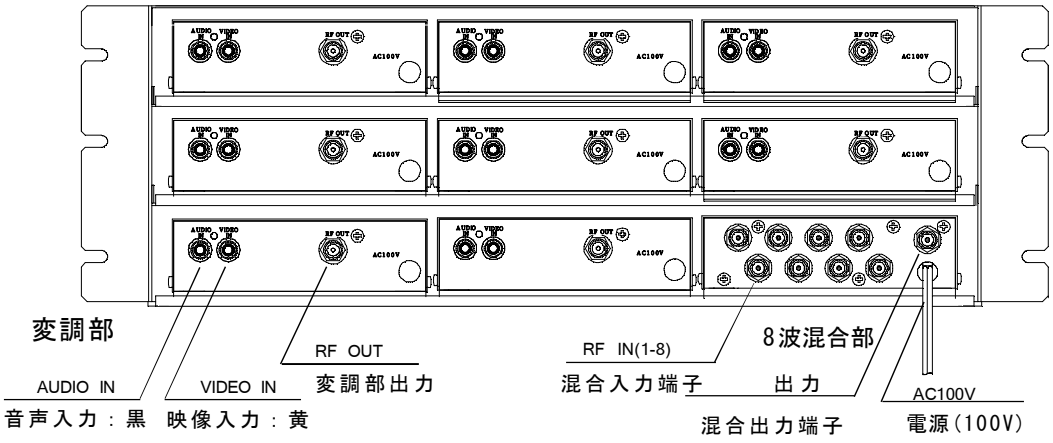
★F 接栓の加工接続はケーブルの太さ・種類によって異なりますが、断線・接触不良の原因になりますので、正しい工法で行なってください。

□各部の名称と機能□

■操作面（フロントパネルを外した時。変調部 8 台時）



■接続端子面



※変調部 8 台未満の場合、上段が空きスペース。8 波混合部の RF IN 端子は、終端器接続。

□地デジ視聴機能□

機能		デジタル放送 地デジ対応テレビ	デジアナ再送信 アナログテレビ
映像品質		デジタル	アナログ
映像		◎	○
音声	モノラル	○	○
	ステレオ	○	常にモノラル
	多重(二ヶ国語)	○	主音声のみ
	5.1chサラウンド	○	常にモノラル
電子番組表(EPG)		○	×
データ放送・文字放送		○	×

□デジタルチューナーの初期設定□

■デジタルチューナーは、RF レベル54dB μ以上が必要です。(フェージング等の配慮)

■受信アンテナのデジタルチャンネルと変調部の再送信チャンネルを記入したシートは各デジタルチューナーに貼ります。(記入したシートの確認は、チャンネル操作の間違い防止ができます)

■デジタルチューナーの映像音声出力は、アナログテレビの映像・音声入力端子に接続します。

■デジタルチューナー製造会社の取扱説明書の記載した初期設定を行ないます。

■初期設定はリモコンを使用します。

★テレビ画面設定は、「4:3 パンスキャン」。

★自動チャンネル設定を実行。自動割当されたチャンネルから設定チャンネルを決定。

★2ヶ国語設定は「音声切換」を操作「主音声」。

★アナログテレビで映像と音声の視聴確認が良好であれば初期設定と確認は完了。

■各デジタルチューナーの設定が完了すれば、アナログテレビの映像・音声入力端子に接続したコードは、本器の指定するチャンネルの変調部映像端子(黄色)音声端子(黒)に接続してください。(音声は1本のみ接続)
配線コードは、他のコードと絡まないよう注意してください。干渉障害が出ることがあります。

受信・再送信チャンネル一覧表

	デジタル放送		デジアナ変調器
No.	受信放送局名	受信チャンネル	出力チャンネル
1			→
2			→
3			→
4			→
5			→
6			→
7			→
8			→

□デジアナ変調器の調整□

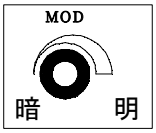
■準備

★従来のアナログ放送は受信アンテナの給電部で、同軸ケーブルを切断。

★デジアナ変調器の出力端子とテレビ共聴設備の主増幅器入力端子間に同軸ケーブルを配線接続。

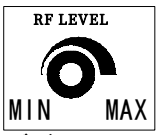
★フロントパネルを外し、各デジタルチューナーの電源はON。
レベル測定及びアナログテレビの受信確認は、モニター端子(-20dB)で実施。

■映像信号の確認



明暗が気になる場合は、MOD 調整。(工場で標準調整済み)
放送局の確認。(放送局の違いは、デジタルチューナーで手動チャンネル設定)

■再送信RF レベルの調整



各変調部のRF LEVEL 調整で既設のテレビ共聴設備の要望するレベルに調整。
(最大出力レベルは、80dB μV±2dB程度)

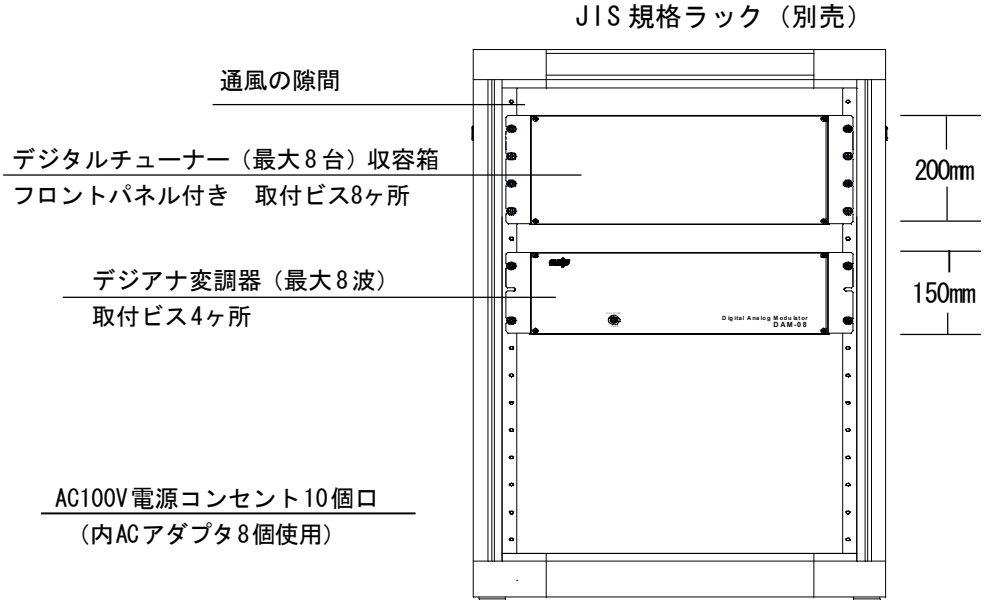
■地デジUHF チャンネルとデジアナ変調器の再送信チャンネルの共用伝送設備は、地デジUHF チャンネルが約10dB 低いレベルで調整。

■テレビ共聴設備の各テレビにおいて、良好受信の確認。

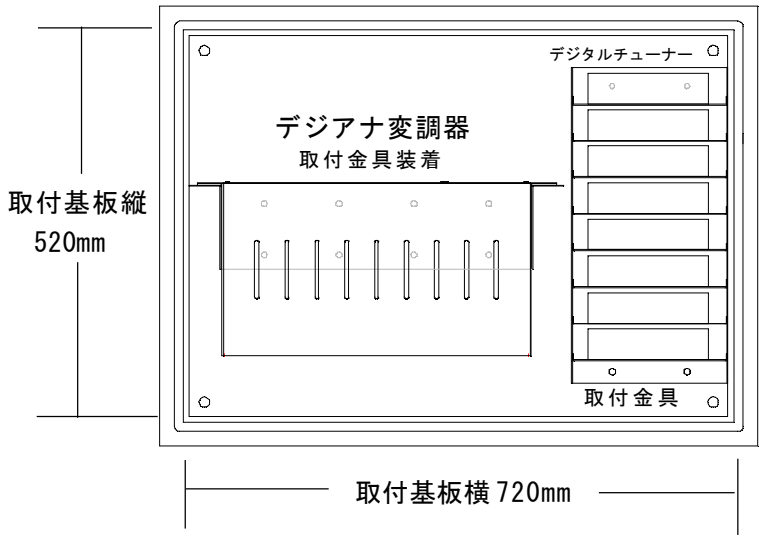
■良好なテレビ受信の確認後、本器のフロントパネルは装備。(ほこりの侵入やイタズラ防止)

□設置例□

■標準ラックに取り付ける場合



■屋外または屋内収容箱の場合



★アンカーボルトM8以上をご使用ください。

★取付金具は別売です。ご注文ください。

★AC100V電源コンセント10個口
（内ACアダプタ8個使用）

⚠注意：

・筐体の取付は総合荷重に長期間耐え、想定する振動や地震に十分耐える工事が必要です。

・機器の発熱は通風を確保した配慮をしてください。内部温度が高熱で故障の原因となります。

〔参考〕

推奨収容箱(市販品) 日東工業製　　単位mm

名称	型名	外形横	外形縦	外形深さ	基板横	基板縦	有効深さ	扉	質量(kg)
屋外収容箱	RA25-86-1LDA	880	647	290	720	520	232	片扉	44
屋内収容箱	S25-86-2LS	880	600	250	720	520	231	両扉	33

□追加増局□　※納品時、変調部8 台未満の場合

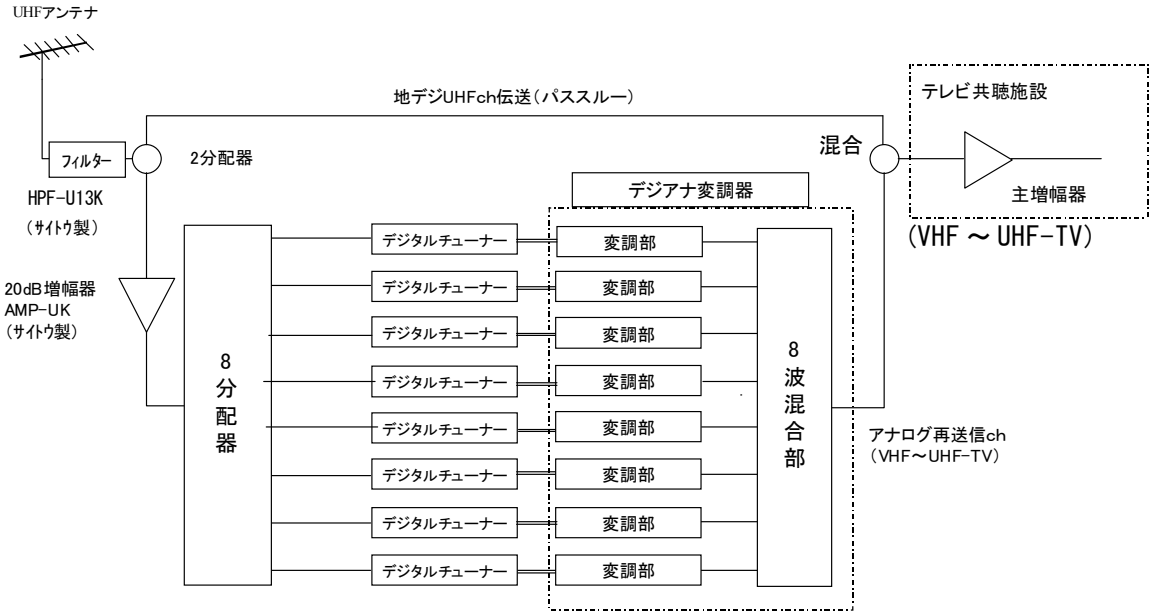
■8 波混合部の空き端子（終端器接続）は、増局ができます。

■8 波混合部の空き端子は電源が停止しています。電流通過回路のコイル取付作業が必要です。

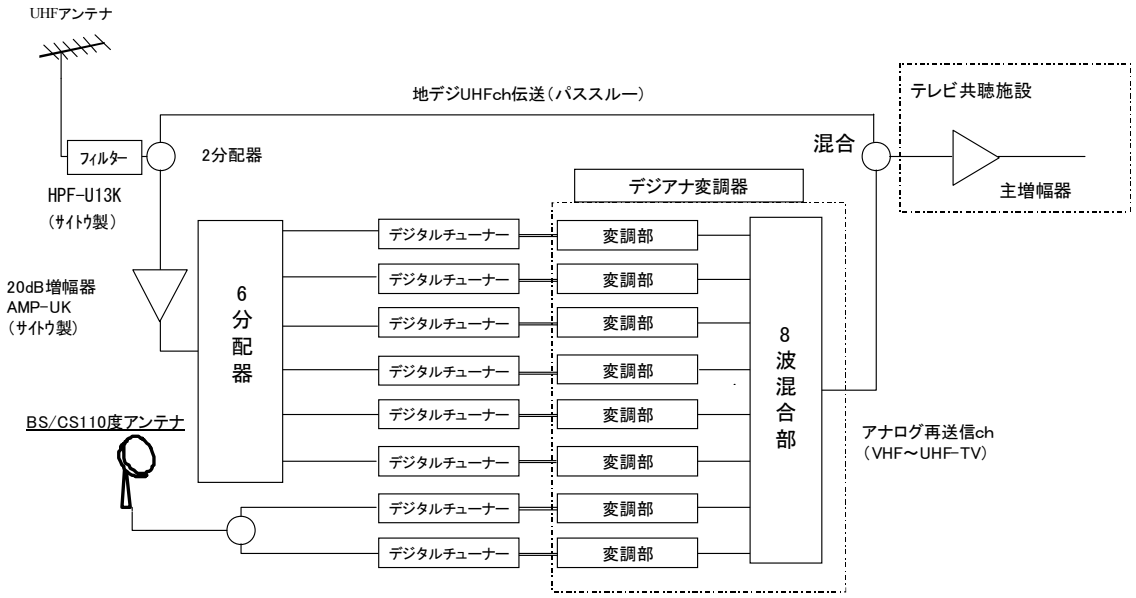
■増設用の変調部に電流通過回路のコイルと接続用同軸ケーブルが付属しています。
チャンネルを指定し、変調部をご注文ください。

□システム構成例□

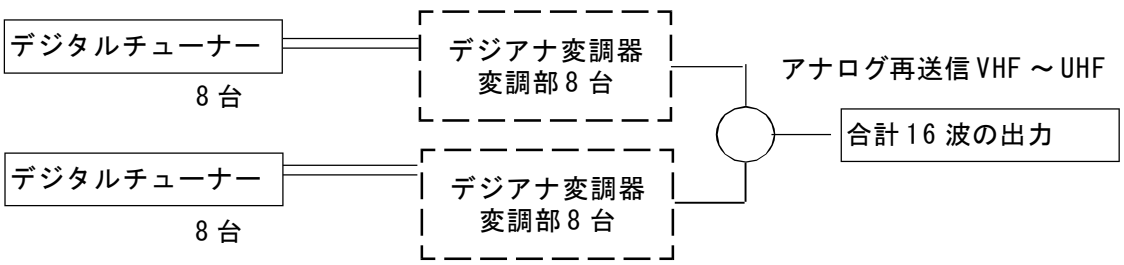
■地デジをアナログ再送信する場合



■ BS/CS デジタル放送と地デジを同時にアナログ再送信する場合



■アナログ再送信 16 波　特注品で対応



Saito Com Co., Ltd.

サイトウ共聴特殊機器株式会社

名古屋市北区五反田町64番地　TEL052-901-4151㈹　FAX052-901-7653

URL：http://www.saito-com.co.jp　E-mail：info＠saito-com.co.jp

2008.12